

EV証明書の意味

セコム株式会社 IS研究所
島岡 政基

Extended Validation SSL 証明書とは

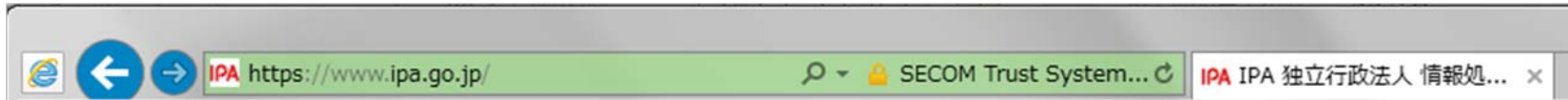
- 一言で言うと**法人向け**サーバ証明書
 - CA/Browser Forumが規定した確認基準に基づいて発行される
 - ドメインの身元確認：主体者がドメイン名の利用権を有していること
 - 組織の身元確認：主体者の組織が**法人格**を有していること
- グリーンバー**：ブラウザのアドレスバーが緑色になる
 - 発行元または発行先の組織名も表示される



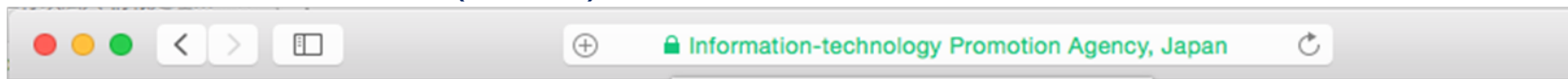
- EV SSL 証明書の他に、EVコード署名証明書もある

ブラウザによる違い

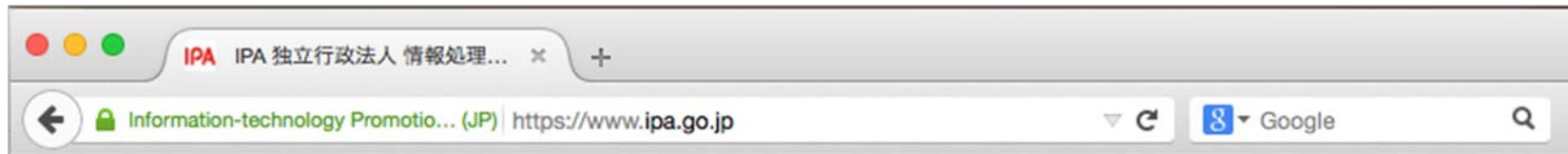
IE11 on Win7SP1(64bit)



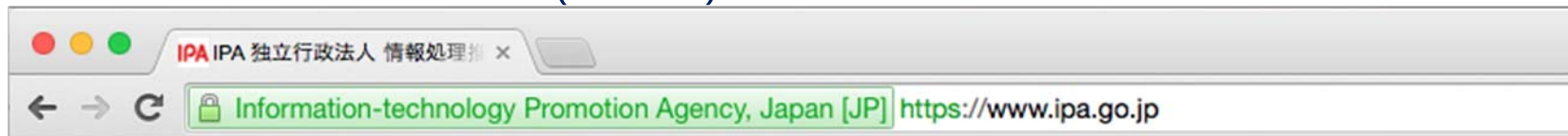
Safari 8.0.2 on Yosemite (10.10.1)



Firefox 35.0 on Yosemite (10.10.1)



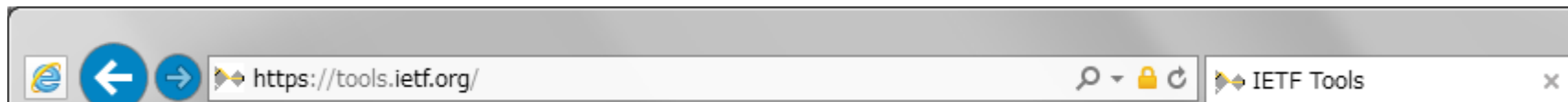
Chrome 40.0 on Yosemite (10.10.1)



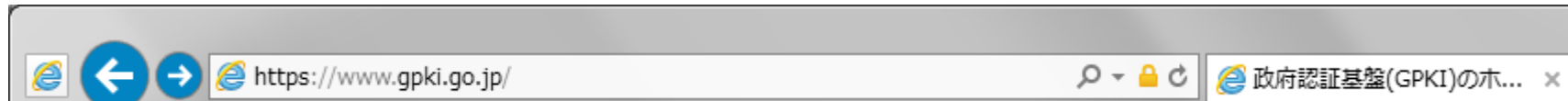
SSL/TLSサーバ証明書の種類

種類	説明
DV証明書 (Domain Validation)	ドメイン名に関する身元確認 WHOISデータベースなどを参照
OV証明書 (Organization Validation)	ドメイン名および組織の身元確認 上記に加えて企業信用情報データベースなどを参照
EV証明書 (Extended Validation)	ドメイン名および組織(法人格)の身元確認 上記に加えて(商業)登記簿などを参照 DV/OVと異なりグリーンバーによる視認性を確保

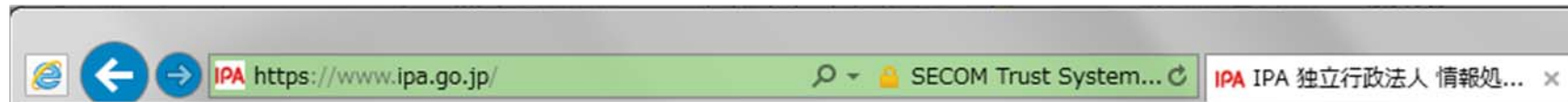
DV



OV



EV



EV証明書の歴史的経緯

SSL黎明期 (1994～)

古き良き時代。厳格な身元確認を行う認証局(OV)のみ。

WebTrust for CA策定 (2000)～

身元確認の要件が規定されていなかった。

ドメイン名の確認だけなら自動化・低価格化が可能。

DVもOVもWebTrust for CA認定という点で違いはない。

簡易なDV証明書の台頭 (200?～)

誤発行や不正入手などの問題も目立ち始めた。

OVとDVの区別がつかないことがネックだった。

EV SSL 証明書ガイドライン策定 (2007～)

厳格な身元確認を行う認証局のための認定基準を新設。

グリーンバーによる視認性の確保。

EV証明書のアドバンテージ

組織の法人格の確認

- 一般には組織の身元確認ができれば十分
- 実社会でも法人登記まで確認するケースは少ない

グリーンバーによる視認性の確保

- OVだけでは不十分な場合
- DVではないことを強調したい場合
 - 金融・決済系
 - なりすまし対策(安心感)の訴求

**IdPにはとても
大事な要素！**

OVで不十分な場合(大学編)

利用者の、組織に対する前提知識が著しく低いケース

- 日本人なら組織名を見ればある程度の見当がつく
→OV証明書で用が足りる
- しかし外国人はそうはいかない
 - 聞いたことのない大学名、検索しても情報が少ない、などなど

海外からのアクセスに効果的！？

- 当該大学をあまり知らない(外国)人を対象とするサイト
- 特に海外企業との共同研究、留学生募集など

まとめ：大学におけるEV証明書の意義

- 法人格の違いよりも視認性(グリーンバー)が重要
- 利用者の安心感に対する訴求
 - IdPへの導入
- 海外からのアクセスに対する組織の实在性の訴求
 - 共同研究企業、留学生の募集など